

## 民間工事 積算有料化の取り組み



広島県鉄構工業会  
山本泰徳理事長

「前提としてわれわれ  
算、見積もり有料化に向  
け、動き出す。」  
料はセネコ」にとって参

広島県鉄構工業会は昨年、公共工事の積算、見積もりの有料化を実施し、制度化することに成功した。無料の積算業務は鉄骨ファブリケーターの持つノウハウの流出につながるほか、人員の限られる中、受注に結び付かない業務にリソースをとられるなど弊害が大きかったが、有料化の実現でこうした状況は改善が進んだ。山本泰徳理事長（フアブ社長）は「本丸」と位置付ける民間工事での積算業務の有料化に向け、提言を始める方針を固めている。意義や取り組みについて聞いた。

「公共工事のときの  
繰り返しになるが、最  
業であれば同一価格で  
の仕入れが可能となる  
仕組みで、防錆塗料や  
飲料などさまざまな物  
に対象を広げている。  
福利事業の一つとし  
て、今後も充実させて  
いく」（月森 七海）

## 二重業務の解消目指す

### 目標は「鉄骨製作に専念」

「これまで組合企業  
の後継者が中心だった  
が、世代交代が進み、  
現在は適齢者が少なく  
なっている。そこで後  
継者だけでなく、各社  
の若手社員などにも参  
加を呼びかけた。今で  
は40人近くが参加し、  
活動は活発化してい  
る。鉄骨制作部会を通  
じ、大学などと連携し  
ながら技術研究にも取  
り組んでいる」  
「組合で塗料など  
物品の共同購入にも力  
を入れている。」

「最終的な目標は、  
「フアブは鉄骨製作  
に専念できるのが好ま  
しいと思っている。そ  
れ以外の業務をサービ  
スで行わざるを得ない  
というのをおかしなこ  
とであり、本来の在り  
方を取り戻したい」  
「積算事務所は鉄骨製  
所の見積りで違いは。  
「フアブと積算事務  
所の見積り」  
「取り組みとしてはま  
ず、どういう形の制度を  
行っており、大手セネコ  
積算は建築積算事務所が  
考でしかないということ  
が一つ。建築工事の概算、  
要はないだろう」  
「フアブが無料で続ける必  
ず、どうするか、話し合うこと  
から始めたい」  
「フアブと積算事務  
所の見積り」  
「取り組みとしてはま  
ず、どうするか、話し合うこと  
から始めたい」  
「フアブと積算事務  
所の見積り」  
「取り組みとしてはま  
ず、どうするか、話し合うこと  
から始めたい」

もコストがかかるという  
ことになれば、この重複  
部分は解消されるだろ  
う。われわれの負担を確  
実に減らすことができ  
る。またこうした事務所  
の存在は、積算資料は費  
用をかけてでも必要なも  
の、ということを示す証  
拠でもある。だとすれば、  
10%前後に過ぎず、大き  
く行った。